**マイマイガ大発生について**

平成２６年より、市内でマイマイガの毛虫の大発生が確認されています。全国的にも発生しており、一度大発生すると、２～３年続く傾向があります。また、１０年周期で繰り返すこともあります。

**◎発生パターン**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 4月  孵化 | 5月  毛虫 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|  | サナギ | 蛾 |  |  | 卵塊で越冬 |  |  |  |  |  |  |

産卵

**◎人体への影響**

成虫や卵塊の鱗毛、幼虫の毛に触れると皮膚が赤く腫れたり、かゆみや発疹が出ることがあります。

**◎対策**

**幼虫**

・体長が1センチメートル程度までは、市販の殺虫剤で駆除できます。それ以上の大きさのものは、バケツに水と少量の洗剤を入れて、火ばさみ等で捕まえ、中に入れ溺死させます。

**成虫**

・黄色蛍光灯（ナトリウムランプに近い波長特性）やＬＥＤ灯等、誘虫性が低いとされる光源に交換する。

**卵塊**（建物の壁面、軒下、樹木の幹にあります）

・先端が平らで、あまり固くないものではがし、翌年の発生を抑える。

（例：ペットボトルを半分に切ったものではがす）

＊処理した幼虫、卵塊は、燃えるゴミとして処分してください。



マイマイガの幼虫　　 　　　　壁に卵を産み付ける成虫　　　　ペットボトルで卵塊を除去